



ひろしまの

住まい事例集 Vol.7

広島県の自然と地域にあった住まい



ごあいさつ

Greeting

自然を大切にした持続的な暮らし方が問われています。

木は大気中の二酸化炭素を固着し、さらには再生が可能な資源の一つであり、

木造住宅は木の最大の消費先といえます。

また、あらゆる分野において省エネルギー化の推進が求められており、

住宅についても国では、平成32年までに、

全ての新築住宅について省エネルギー基準への適合を義務化する方針を打ち出しております。

こうしたことを契機として、平成24年度、広島県内の木材生産、建築流通、設計、施工に携わる

住宅生産者が連携してスキルアップや地域の木材の利用拡大等を推し進めることを目的として、

「広島県木造住宅生産体制強化推進協議会」を設立しました。

当会は地域で産出される木材を使い、建つ場所の気候風土や敷地の状況に配慮しながら

省エネルギー基準に対応し、さらには長期にわたって利用出来る耐久性などを備えた

優良な木造住宅の普及促進に取り組んでまいりたいと考えております。

この事例集は、昨年度に引き続き、優良な木造住宅の普及促進の一環として作成したものであり、

より多くの人の目に触れ、

これから住宅の新築やリフォームをされる方の参考となることを願っております。

最後に、この事例集作成に当たってご協力いただいた多くの建築主、設計者、

並びに施工者の皆様に対して厚く御礼申し上げます。

平成31年2月1日

広島県木造住宅生産体制強化推進協議会

会長 元廣 清志

目次

Contents

省エネ基準への対応

島の緑に溶け込む煉瓦積みの家【(株)池芳工務店】	P5-6
Café スタイルの家【高橋工務店(株)】	P7-8
共働き夫婦のためのガレージハウス【(株)田村建設建築設計事務所】	P9-10
～ Di olive ～ 三次の家【マスタランドビル(株)】	P11-12

県産材を利用し、長期利用への対応の面でも優れた事例

素の家【つながる家】【旭ホームズ(株)】	P13-14
共働きに住みよいおしゃれな家【(株)大喜】	P15-16
愛犬、愛猫と穏やかに暮らす家【(有)しおた工務店】	P17-18

地域の気候風土や敷地の状況に的確に対応

庚午中の家 「建築家の自邸 兼 事務所」【(有)立石建築設計】	P19-20
数寄屋の家【(株)川本建築設計事務所】	P21-22
ウッドデッキのある平屋【橋本建設(株)】	P23-24
海辺の平屋【(株)濱田昌範建築設計事務所】	P25-26
窓の外と一体になる住まい【(株)トランスデザイン】	P27-28

リフォーム・リノベーション

思い出が蘇る時代継承の家【(株)住宅デザイン研究所】	P29-30
酒蔵通りの古民家【エンロハスデザイン一級建築士事務所】	P31-32
古き良き家【(株)エコデザイン工房】	P33-34

ひろしまの住まい事例集 ～自然と地域に合った住まい～

①目的

住宅は本来、建つ場所(地域)の気候風土や敷地の状況などに応じて個々に計画され、その地域を熟知した工務店などにより建設されてきました。昨今は大半の部分が規格化された住宅が増えつつありますが、こうした従来からの「地域型住宅」とも言うべき住宅の建て方も再評価すべきと考えました。そこで、県内の「地域型住宅」の優れた事例をわかりやすく取りまとめて広く紹介することで、これから住宅の新築やリフォームをされる方の参考としていただき、より良質な住まいづくりの一助となることを目的とします。

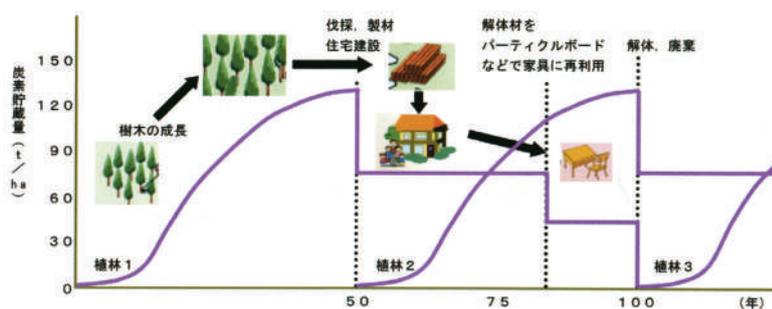
②事例選定のコンセプト

今後の住まいづくりに求められる視点として次の4つのコンセプトを設定し、このコンセプトに沿って優れた創意工夫のある事例を「ひろしまの住まい事例集」として取りまとめました。

①地域材(県産材)利用

地域で産出される木材を積極的に利用することは、木の生産・消費のサイクルを生むことにつながり、二酸化炭素の吸収源である森林の適切な保全にもつながります。

●炭素ストックのへ状態と変化



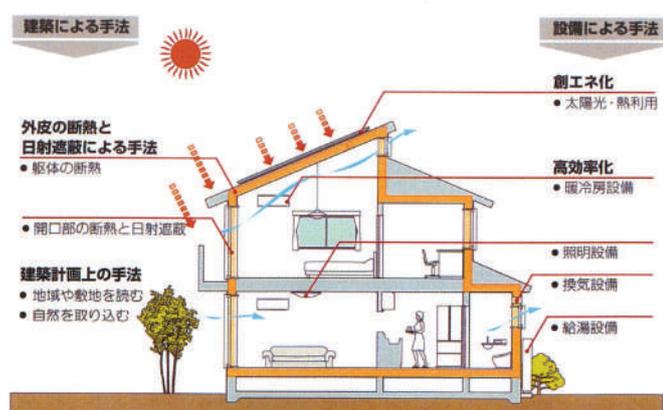
②長期利用への対応

住宅を長く大切に使い続けることは、住宅生産に伴う消費エネルギーを直接減らすことにつながります。長期にわたって利用するための耐久性や、家族構成の変遷に合わせた間取りの可変性などが今後の住まいづくりにおいては求められます。

の作成について About creation of the example collection of Hiroshima houses.

③省エネルギー基準への対応

地球環境問題への対応の一つとして、住宅での消費エネルギーを減らすことが重要です。今後の住まいづくりにおいては、住宅の断熱性を高めるなどの従来の取組みに加え、地域の気候や敷地に応じた自然の光・風を取り込む工夫も必要です。



④地域の気候風土や敷地の状況への対応

住宅には、建つ場所(地域)の気候風土や敷地の状況などに応じた多様な形があるべきです。こうした個別の事情を考慮し、設計や工事の各段階で創意工夫することが求められます。

⑤リフォーム・リノベーション

住宅をライフスタイル等にに合わせて改修することや空き家の活用など、既存住宅(既存建物)をより有効に活用することで快適な住まいづくりが実現されます。

③広島県木造住宅生産体制強化推進協議会

住宅生産に係わる次の関係団体により構成される協議会です。

【構成団体】

(公社)広島県建築士会、(一社)広島県建築士事務所協会、(一社)広島県建築センター協会、
(一社)広島県工務店協会、(一社)広島県木材組合連合会、(一社)広島県住宅産業協会、
(一社)日本ツーバイフォー建築協会広島県支部、
(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部、
広島県森林組合連合会、(株)スガノ、(株)小野産業

【オブザーバー参加】

広島県土木建築局住宅課、広島県農林水産局林業課

【協議会事務局】

(公社)広島県建築士会 広島市中区千田町 3-7-47 広島県情報プラザ 5F Tel : 082-244-6830

島の緑に溶け込む煉瓦積みの家

【建築主】 K様
【設計者】 IKEHOUSE 株式会社池芳工務店 TEL: 082-843-8181
【施工者】 IKEHOUSE 株式会社池芳工務店 TEL: 082-843-8181
【企画立案者】 IKEHOUSE 株式会社池芳工務店 TEL: 082-843-8181



全景

江田島の山々に馴染む煉瓦積みの家。こうして何年も前からあるように風景に馴染んで見えるのは、自然素材の煉瓦や漆喰、天然石を使っているから。これからさらに風合いをましていくことに。



アーチの外と内

外壁のアーチ状の部分は白い天然石を使用。一つ一つ手積み煉瓦との相乗効果で良いアクセントに。アーチ部分の内側はダイニング。デザイン的にも採光の上でも重要な役割を果たしています。

外観



ダイニング

創意工夫の内容

施様のご希望により、クローゼットや物干し場を1階に家事動線を集める平屋のようなプランを提案。2階には主寝室や子供部屋と、キャットウォークからしか出入りできない隠れ家的な書斎を設計し、窓からは山々と空を楽しめる借景を考え、開放感ある間取りを設計しています。



LDK

抜群の採光と漆喰の壁の白さで明るいLDK。勾配天井やアーチ型の壁などでメリハリのある空間に。

事例の特徴

- 省エネ等級5相当
- 広島県産材使用
- 外壁：煉瓦積み・天然石貼り・漆喰塗り
- 窓：樹脂ペアガラス
- 換気：第一種換気システム



洗面

洗面からクローゼット、家事室へと一直線につながる家事動線。



洋室

こども部屋は将来仕切り壁をつけて2つの部屋に変更可能。



キャットウォークを通じて行く隠れ家的な書斎はご主人のお気に入り。そこから抜けるアーチ状のベランダはこれまたご主人の憩いの空間に。

Café スタイルの家

【建築主】O 様
【設計者】高橋工務店株式会社 TEL: 0823-34-5585
【施工者】高橋工務店株式会社 TEL: 0823-34-5585
【企画立案者】高橋工務店株式会社 TEL: 0823-34-5585



全景

外観は白で屋根と外構には木の色を使用して、白系ナチュラルで外構を含め統一感がある仕様。
屋根には太陽光を設置しており、ZEHの家でもある。

周辺の状況

周囲は住宅街で、同時期に整地された分譲地となる。
裏に山、南側は団地内公園となっている。



外観①

道路に面している東側は、窓を視界より高く設置。



外観②

裏側にあたる西側は、広いウッドデッキを設置。
西日を考慮してスタイルシェードを設置。

創意工夫の内容

好立地を生かし、南側に大きな窓を設置。構造の工夫+熱や空気の流れを制御したパッシブ要素を有効に活用し、Z E Hかつ低炭素基準の一次エネルギー消費量相当にあたる、省エネ等級5を満たす。最低室温15℃以上の健康的で快適な空間づくりを目指した。

高度省エネ型として平成29年度地域型グリーン化住宅事業に採択された、高性能でおしゃれなCafeスタイルの家。



内観①リビングからの眺め

キッチンと適度な距離で空間が分けられ、くつろげる空間となっている。



内観③リビング

壁掛けテレビスペースには埋め込み収納を設置。間接照明とエコカラットでさらにすっきり。



玄関収納

玄関には大容量の収納を有効に設置。

事例の特徴

- 省エネ対応ならば性能等級
- 県産材利用ならば使用量と主な使用部位を記載
- 平成29年度地域型住宅グリーン化事業 (高度省エネ型)



内観②LDK～和室

和室入口、造作の引き戸を開けるとモダンな和室へ。小あがりには引き出し収納を設けて収納も確保。



内観④和室

造作扉を閉めると雰囲気は異なりスタイリッシュで静かな和の空間に。



吹き抜け階段

階段を上がる度、お気に入りの照明が照らしてくれる。

共働き夫婦のためのガレージハウス

【建 築 主】 M 様

【設 計 者】 株式会社田村建設建築設計事務所 田村 篤 TEL: 082-848-5110

【施 工 者】 株式会社田村建設 TEL: 082-848-5110

【企画立案者】 株式会社田村建設建築設計事務所 TEL: 082-848-5110



外観

ガレージ部はシャープな板金、住宅部はしっかりとした瓦と塗り壁でまとめた。



敷地条件を活かす

南側が開けた高台という好条件を活かし、太陽の光をたっぷり採り込む夏の陽射し対策として軒をしっかりと出している。



ダイニング・キッチン

シンプルなメインルーム。
太陽の恵みと無垢の床の心地よさを楽しむ。

創意工夫の内容

クルマいじりという趣味と、共働き夫婦の暮らしやすさを両立させる住まいを考えました。ガレージにしっかりとスペースをとるため、コンパクトとなる住まい空間の中で、必要などころに集中的に収納をもうけることで片付けを楽に。水回りを工夫することで洗濯の不安を解消。水回り動線もコンパクトにまとめ家事をスムーズにこなせる家になりました。

事例の特徴

- 省エネ等級 G1-G2
- 県産材使用 - 杉
- パッシブデザイン
- 造作家具・建具



シューズクローク

玄関からつづいておりダイニングへと出ることができる家族用の玄関。



洗濯干し室

共働きのご夫婦のための1スペース。夜干して昼乾かしそのまま収納。



水回り

WC・洗面・脱衣・浴室がすらすらと並んでおり、脱衣からは洗濯干し室へ入ることができる。



キッチン

奥さんと使いやすさを考え抜いたキッチン収納ゴミ箱置場からサララップ置場まで完備。



寝室

風通しを重視した開口部と壁いっぱいの収納窓際には引き出し式の布団干しも設置。

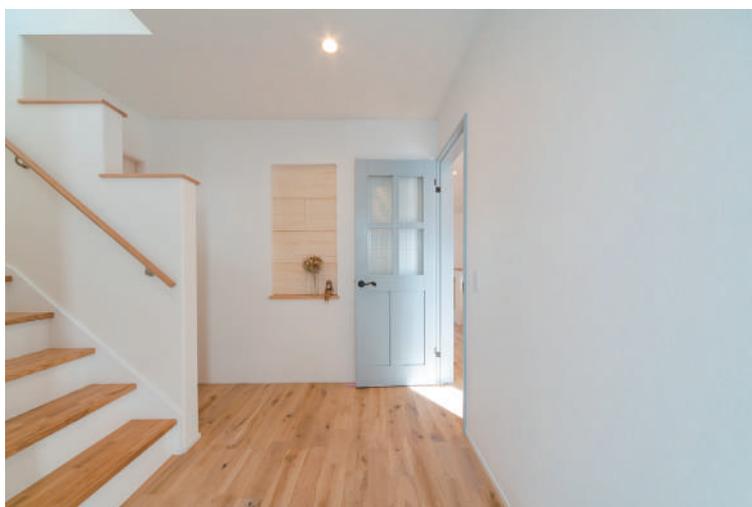
～ Di olive ～ 三次の家

【建築主】H様
【設計者】マスダランドビル株式会社一級建築士事務所 TEL: 0824-62-5511
【施工者】エムズホーム マスダランドビル株式会社 TEL: 0824-62-5511
【企画立案者】マスダランドビル株式会社一級建築士事務所 TEL: 0824-62-5511



全景

静かな住宅地。朝日を浴びながら起きる贅沢。外壁は優しい色の塗り壁・片流れ屋根で太陽光5.0kw搭載。



玄関ホール

ブルーグレーのペイントドア。
イタリア漆喰の壁にライムストーンのニッチでお出迎え。

創意工夫の内容

弊社 2018 オリジナルコンセプトのシリーズ「Di olive」
～コンセプト mamalife×innovation～ママの暮らし方を変えたい
家事動線・家具・照明もトータルコーディネート。性能は三次の寒い冬を過
ごすための保温重視型の高気密高断熱住宅。
性能：三次市は5地域・UA値 0.39W/m²K 省エネ等級4 樹脂製サッシ
アルゴンガス封入トリプルLOW-E断熱ガラス・GW充填断熱
・太陽光 5.0KW・第1種熱交換型換気システム搭載・基礎内側断熱・実測
C値 0.7cm²/m²、気密測定は全棟実施している。

事例の特徴

- 平成30年度ZEH化
- 支援事業物件
- ゼロエネルギーハウス



洗面

弊社のオリジナルデザインの洗面台。
家族で使う場所だからこそ機能的に収納。



リビング

動線が一直線で単純。小上がり和室は家族で使う場所だからこそ機能的に収納間仕切りが無くても、あえて段差をつけることにより別空間に演出。



キッチン

子供さんの顔が見え、見渡せるのがDi oliveシリーズの重要ポイント。



寝室

読書・スマホを見たり。スマホ充電のコンセントと棚は必需品。

県産材を利用し、長期利用への対応の面でも優れた事例

新 築
広 島 県

素の家【つながる家】

【建 築 主】 非公表
【設 計 者】 旭ホームズ株式会社 TEL: 082-941-1211
【施 工 者】 旭ホームズ株式会社 TEL: 082-941-1211
【企画立案者】 旭ホームズ株式会社 名藤健治 TEL: 082-941-1211



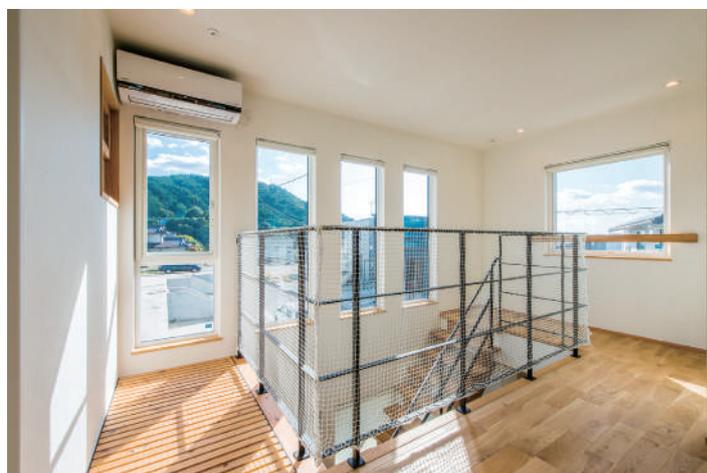
全景

新規造成地の真南向きの角地の敷地ですが、敷地が異形地で南側には段上りの敷地があり、日射の取得や配置に関して工夫が必要な敷地でした。シンプルな形状ですがパッシブデザインの工夫を取り入れた省エネ住宅です。



南面の開口

南側の段上りの敷地があるため、建物が建たない隣地の階段部分に日射取得面を集約しました。屋根にも4.35KWの太陽光発電を搭載しています。



南面の開口

南側2階には大きな吹き抜けがあり、取り入れた太陽熱を室内の奥深くまで取り入れる事が可能です。とても暖かい場所なので冬場は室内干しの良い場所になります。

創意工夫の内容

真南向きの角地と立地条件は良かったが南側に段上りの敷地があり、いずれ南側に建物が建つ事が予想されました。パッシブデザインに興味のあるお施主様はこの敷地特性を生かしながら日射熱取得や太陽光発電を生かしたいというご要望があり、集熱面の窓を建物が建たない位置に配置しました。2階の窓から入った光が吹き抜けを通じて1階にも届き冬でも暖かい室内になりました。1,2階に小さなエアコンを1台ずつ設けて季節ごとに交互に運転して全館冷暖房しています。また長期優良住宅の認定も取得しています。

事例の特徴

- 長期優良住宅認定取得
- 耐震等級：等級3
- UA値：0.54W/m²k
- C値：（気密性能）：0.47
- 太陽光発電：4.35kw
- 開口部：樹脂サッシペアガラス
- 換気：第1種熱交換換気システム



リビング

南側の吹き抜けから明るい光が室内に届きます。大きな窓ですが全ての窓に樹脂サッシを採用しているので室内は夏涼しく、冬暖かい空間にする事が可能です。



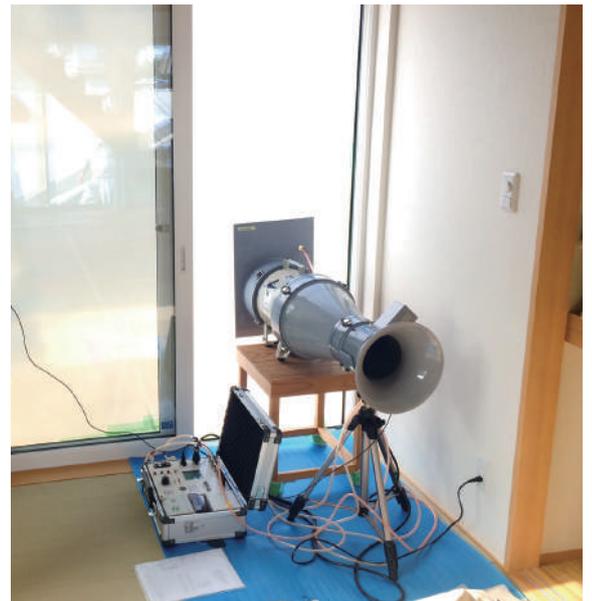
リビング

吹き抜けの一部はスノコ形状になっており、2階で運転している夏場の冷房用のエアコンの空気を1階まで落とせるように工夫しています。



2階

2階は寝室以外は個室にせず将来のご家族の状況によって後から間仕切りを設置する予定です。



気密測定

工事完了後に気密測定を行いました。いくら良い断熱材を施工しても隙間があると効果は半減します。冷暖房効果や換気の効率化、結露などの問題を起こさない為にも気密測定は重要な検査です。

県産材を利用し、長期利用への対応の面でも優れた事例

新
築
|
広
島
市

共働きに住みよいおしゃれな家

【建築主】T様
【設計者】暮らし工房 楽 清原 博幸 TEL:090-2867-1088
【施工者】株式会社 大喜 TEL:082-875-3300
【企画立案者】株式会社 大喜 TEL:082-875-3300



全景

ガルバリウム鋼板に天然木アクセントを取り入れた外観。艶消しタイプなので追いついた印象になっている。



玄関・シューズクローゼット

上着を必要とする時間や来客時にとても便利。引き戸を開閉することも可能。日照、通風できるように上下に設けている。

創意工夫の内容

家事軽減も叶えた自然素材の家。

心も体も晴れやかな暮らしに！

日当たりを考え2階にリビングを配置し、自然素材を使用してあったかい空間。家事の軽減の為に工夫したのが1階のランドリースペース。洗面室横の室内干しスペースにハンガーごとウォークインクローゼットへ移すだけ、さらに珪藻土の効果で湿気をよくする。

事例の特徴

- 長期優良住宅
- 「地域産材使用部位」主要構造材 100%



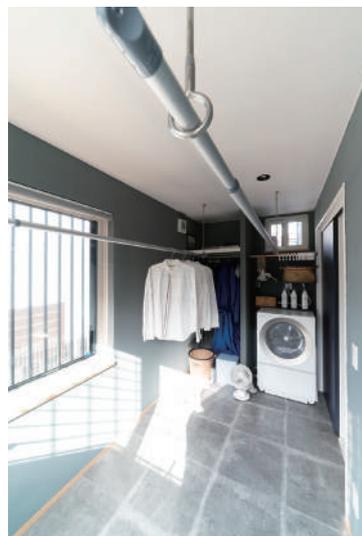
LDK

オールステンレスのセミオーダーキッチンを中心とした空間で、無垢の床材を張った床や天井からさわやかな木の香りがする。オーダーして作ったアイアンと木材のダイニングセットが、普段のくつろぎの場になっている。LDKの一角には小上りの和室も設けて空間のアクセントに。



洗面脱衣

2人で並んでもゆったりとした広さの洗面スペース。全ての空間に収納スペースを多く設けたため、家中がすっきりしている。



物干しスペース

洗濯室横にある物干スペース。乾いた洗濯物はハンガーごとウォークインクローゼットに吊るすので、たたむ作業が格段に減った。

県産材を利用し、長期利用への対応の面でも優れた事例

新 三
築 次
市

愛犬、愛猫と穏やかに暮らす家

【建築主】非公表

【設計者】有限会社 しおた工務店一級建築士事務所 塩田 崇 TEL: 0826-45-3658

【施工者】しおた工務店 塩田 崇 TEL: 0826-45-3658

【企画立案者】しおた工務店 塩田 崇 TEL: 0826-45-3658



外観

自然豊かな高台に建つ平屋。ガルバニウムのクールさと木の外壁を組み合わせたコントラストが目を惹く。モダンでスタイリッシュな佇まい。



LDKから出入り可能な西側デッキ

リビングの西側に広がるデッキ。窓を開けるとLDKと一体化した外と中が繋がるプライベート空間。



風景を取り込んだコーナービュー

リビングに隣接する洋間は奥様の居室。大きなFIXのコーナービューから臨む風景を独り占めできる。

創意工夫の内容

緑に囲まれた高台の田園風景に溶け込む平屋建。外観はガルバニウム鋼板と杉板貼りのアクセントが特徴的。吹き抜けと大きな開口のある大空間で、家中どの場所からも四季折々の景色を楽しめ住まいに豊かさをもたらす。高性能な家だからこそ叶えられた、冬暖かく年中心地良い暮らし。一緒に暮らす愛犬、愛猫達へのお施主様の愛情が随所に感じられる家づくりとなった。



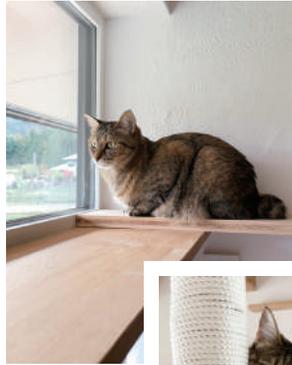
キッチン

リビングに存在感のあるスタイリッシュなアイランドキッチン。インテリアとして空間に溶け込む。カウンター収納とパントリーは引戸を開けると採光と共に美しい緑が広がる。優しい足触りの杉の浮づくり床とホタテ漆喰で自然素材の優しい空気に包まれる。



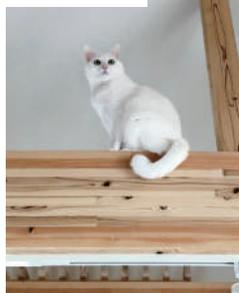
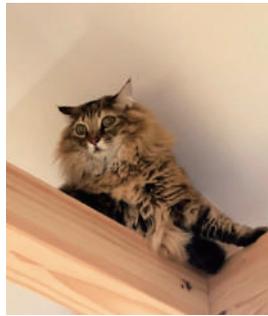
大空間の吹き抜け

ペレットストーブのある吹き抜けを中心に、畳コーナー、小屋裏と緩やかに繋がるリビング空間。猫たちの居場所を随所に設け、遊び心が一杯の大空間に仕上がった。木の香りと自然素材の優しさ、共に暮らす家族へのお施主様の愛情が伝わってくる。



それぞれの居場所

窓辺でも暖かい。家の中のアちこちに遊び場や居場所が施されている。



事例の特徴

平成29年度地域型住宅グリーン化事業(長寿命型)採択 広島県産材檜を主要構造材に、また地域材の活用として、広島県産材檜の内装材を一部使用。熱交換換気システム、天井断熱にセルローズファイバーを採用し、外壁面は充填断熱+内断熱の二重断熱とし、断熱性能はHEAT20 G2同等レベルを可能にした。



窓からの借景

キッチンの勝手口から目に飛び込んでくる庭の樹木。春夏の新緑、秋の紅葉、季節によって移り変わる風景が楽しめる。



畳コーナー

小屋裏に続く階段下を愛犬の居場所に。抜群の景色が広がる南側にはご主人の書斎コーナー。掘り込み式にした床には床暖房を設置し、冬でも暖かな窓際となっている。寝転んで見上げると頭上には猫たちが自由に歩き回るキャットウォークが繋がる。

庚午中の家 「建築家の自邸 兼 事務所」

【建築主】立石様
【設計者】有限会社 立石建築設計 立石光紀 TEL: 082-527-2187
【施工者】株式会社 藤吉建設 TEL: 082-254-1230
【企画立案者】有限会社 立石建築設計 立石光紀 TEL: 082-527-2187



①②③ 周辺環境と外観

北東道路に面した間口6mの密集地である。外壁仕上は、無垢板、漆喰、ガルバ鋼板。隣地ギリギリで庇が出せない対策としての設計発想。傾斜した外壁の意図は、無垢板張りの劣化を、雨ざらしや直射日光から防止するための策としてデザインした。

④ 事務所空間(木の香るOFFICE)

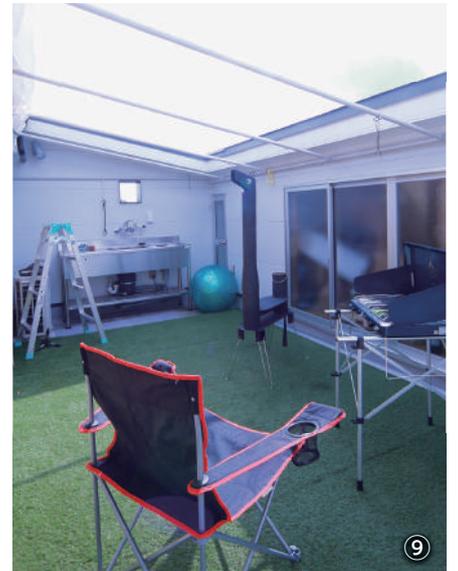
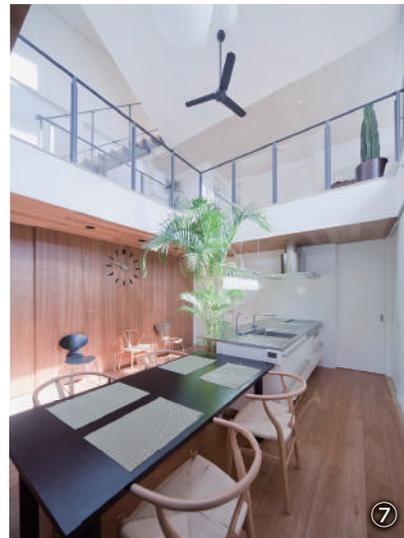
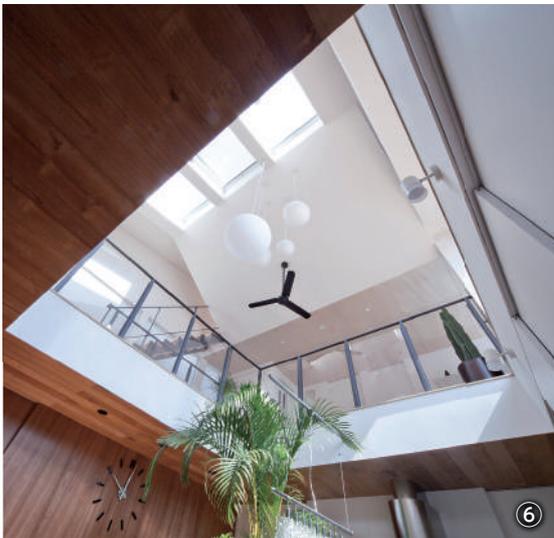
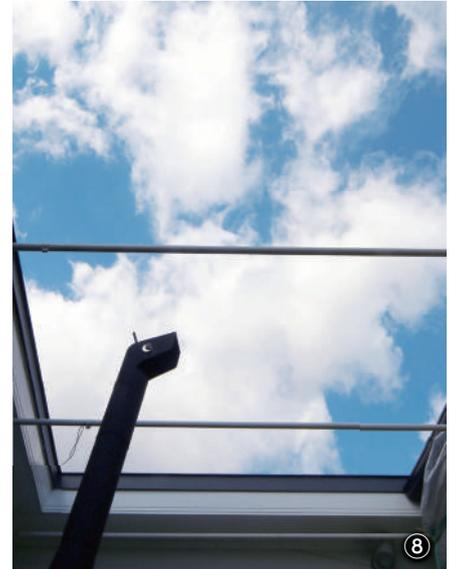
1階は設計事務所として利用し、これまで手掛けた建物パネルも展示し木の構造木材を表わしとし心地よい木の香りに包まれたOFFICEである。住宅空間とは分離しているため将来的にテナント貸しや、お好み焼屋への職替えも夢ではない。(笑)

創意工夫の内容

事務所併用住宅である。住宅密集地で北側道路路面以外は全て住宅が近接した狭小地において、いかに快適な住空間を造るかが課題となった。また、将来的な建物の有効利用として多世代住宅化や、テナント賃貸等への空間利用も視野にいれている。住宅密集地でも全室に十分な採光を確保し、快適で楽しい空間とさまざまな住宅建材を実験的に採用し、成功・失敗も含めて住宅検討者向けのモデル住宅としても建物内の案内をおこなっている。

事例の特徴

- 間口狭小で敷地条件の不利な住宅密集地のなか、可能な限りの空間利用を設計者の発想により「住んでいて楽しい家」をコンセプトに魅力あるものとし、建築家との住まいづくりが身近であることを伝えられるようOPENな建物とした。
- 県産材の利用部位 主要構造部（柱・梁等）



⑤⑥⑦ LDK(南からの採光が取りにくいための対策)

24帖のLDKには隣地建物との視線や生活音対策のため窓はほぼ無い、日中の採光は8帖大の吹抜け上部空間から確保している。

⑧⑨ プライバシー優先の屋上テラス

屋上の9帖大のテラスは開閉式テントで即座のミニキャンプ可能。天空を望む快適なプライベート空間である。



⑩⑪⑫⑬ スタイルの異なる階段

階段のデザインは3パターン。ひな壇階段や採光階段など、木材や鉄骨などの素材や構造を変えて、機能とデザインを両立させた。

地域の気候風土や敷地の状況に的確に対応

新 福山市
築 山 市

数寄屋の家

【建築主】非公表

【設計者】(株)川本建築設計事務所

【施工者】(株)鈴木工務店

【企画立案者】(株)川本建築設計事務所

TEL: 0829-55-3151

TEL: 084-922-1011

TEL: 0829-55-3151



全景 (夜景)

和風で落ち着いたきのある佇まい、日本の伝統的な建築様式数寄屋造りに準じたデザインとした。



玄関アプローチ棟①

正面玄関の縦格子越しに主庭園を眺めながら右折し正面玄関へと進む。



玄関アプローチ棟②

左に縦格子越し主庭園、右手奥に和庭園を眺めながら正面玄関へ導入。



玄関ホール

正面に見る庭園と吹き抜けによる開放的な玄関&玄関ホール。



石畳みと植栽

渡り廊下の解放と共に、光と風を取り込む。

創意工夫の内容

施主のご希望に存分に答え反映した建築に徹した。

外観では、和風で落ち着いた佇まいを求められ、玄関・軒化粧材は無節四方柱目材を採用した。室内空間では半戸外空間がお好みで主庭園と一体化する為引き残しのない全開放型のサッシを採用し、庭との一体化のくつろぎ空間とした。施主の要望に応え、機能・材質・デザイン性の高いオリジナル家具を多数採用した。前面道路からのプライバシー確保は車庫棟と玄関アプローチ棟の配置による土地利用計画を実施し、他敷地内数か所の庭園は各室のデザインを取り込み室内空間と融合した設えとした。

事例の特徴

- 建物内から逃げる熱量の性能を寒冷地並にQ値 \leq 1.0確保。
- 建物全体の隙間合計C値 \leq 2.0確保。
- 透湿抵抗の高い断熱材硬質ウレタンフォームを採用。
- 耐風等級Ⅱの確保。
- 耐震等級Ⅱに準ずる耐震性の確保。



居間・食堂・デッキ

主庭園と一体化した引き残しのない全開放型のサッシ採用。



居間付設の畳コーナー

伝統的な和の佇まいと落ち着いた佇まいのある畳コーナーを併設した。



居間・食堂・畳コーナー

客人の多い当家にとって居間・食堂・畳コーナーの一体化により広々確保。



キッチン

整然と且つ収納十分な厨房、家電類全て隠蔽可能。電動スライド式による高い位置の収納付対応等配慮。



和室

床の間はその家の格式を表し、住む人の心を表現する。書院、本床、広縁を持つ12畳の純和室、加えて本格的日本庭園併設。



和庭園(夜景)

石組を持つ壮厳静寂な和庭園の一角。



居間前庭(夜景)

四季折々の花々に癒される森と芝生広場。

地域の気候風土や敷地の状況に的確に対応

新
築
|
広
島
市

ウッドデッキのある平屋

【建築主】 橋本建設株式会社
【設計者】 橋本建設株式会社 橋本里佳 TEL: 082-878-1110
【施工者】 橋本建設株式会社 泉 直仁 TEL: 082-878-1110
【企画立案者】 橋本建設株式会社 橋本英俊 TEL: 082-878-1110



庭を臨む縁側

軒が深く、どっしりとした印象の平屋のモデルハウス。坪庭の大和塀が目を引く。ウッドデッキ上には採光のためのトップライトが設けてあり、坪庭上部は光・雨を採り入れるため屋根に開口を設けている。



ウッドデッキ

しっかりと軒のかかったウッドデッキ。東向きのためリビングが暗くならないよう、トップライトを設けている。



夜景

夕涼みやバーベキューなど、夜もデッキで過ごすことができる。

創意工夫の内容

安佐南区の南向きの団地の一角に建つモデルハウス。敷地自体は東入りの道路で南側、西側は一段下がっている。団地ということもあり、駐車スペースを3台分確保し、残りを庭とした。平屋のため屋根がぐっと下がっており、ウッドデッキを介して外を眺めるため、落ち着いたリビング・和室となった。モデルハウスということもあり、様々な素材を見ることができるよう、床にはサクラ(節あり・なし)、パインを貼り、壁は珪藻土塗り、ウッドチップクロスを貼るなど変化を付けている。

事例の特徴

- 耐震等級3を取得
- 樹脂サッシを採用
- 構造材、床材は無垢の木を使用



LDK、和室を望む

平屋のためリビング上部を勾配天井にして、開放感のある空間に。暖気がこもらないように、シーリングファンを設置し、南側に採光と換気のための高窓を設置している。



和室、デッキを望む

勾配天井に加え、3枚引き込み戸で開放した和室、同じ床高のデッキによって、より開放感を感じる。



和室

足を下ろせるスタディコーナーを設け、アクセントに丸窓を設けた。壁沿いに家具が置けるよう、畳の周りは板間とした。



洋室

家族の変化に合わせて部屋を増やせるよう、間仕切り可能な間取りとした。

地域の気候風土や敷地の状況に的確に対応

新
尾
道
市
築

海辺の平屋

【建築主】O様

【設計者】株式会社濱田昌範建築設計事務所 濱田昌範 TEL: 0848-20-7312

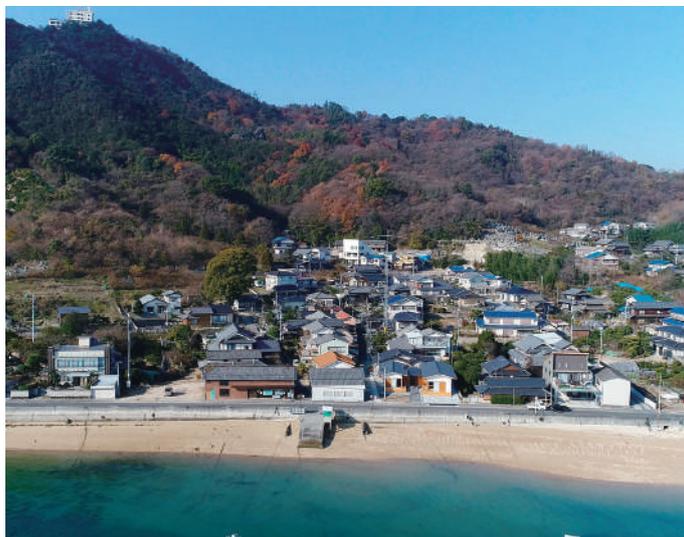
【施工者】ホーム株式会社 角田浩樹 TEL: 084-987-3555

【企画立案者】株式会社濱田昌範建築設計事務所 濱田昌範 TEL: 0848-20-7312



全景

建物が近隣に溶け込み馴染むよう、平屋建ての分棟配置とし、屋根勾配も揃えている。



遠景

集落の中に溶け込み、品良く佇んでいる。



アプローチ

水平線から昇る朝日が心地いい。

創意工夫の内容

施主が新たにこの地域に溶け込み、近隣の方々に快く受け入れられことを念頭に恵まれたロケーションを活かした、この敷地ならではの住まいとなるよう心掛けた。建物は平屋建ての分党配置とし、それぞれの機能に合わせ棟の高低差を調整し 集落のスケールに合わせ一体として美しく見えるよう配慮した。平面は単純で分かりやすくし、玄関を起点に家の中と外、表と裏、公と私の行き来を自由にし、ここでの生活の幅を広げることに努めた。

事例の特徴

- 柱や床の檜は広島県産材を使い木造の家らしく材木を露わして使い木の香り漂う住まいとなっている。



LDK

水面を見ながら縁側で日向ぼっこなど、ここならではの日常の豊かさを感じられる空間になっている。



玄関

この家の表と裏、公と私を結ぶ要となっている。



廊下

公私の切り替えが明快で日常生活にメリハリが出る。



納戸

海と山に囲まれ、自然の恵みを楽しむことができる。ここでの生活に欠かせない納戸も別棟で設けている。

創意工夫の内容

広島市の住宅地での計画。県道に面している為、終日交通量が多い地域である。計画地の隣には母屋があり敷地内同居という形になる為、2階リビングで計画した。生活の階層を母屋と分けることによりお互い適度なプライバシーの確保が可能となった。また、正面側は南となるが、交通量等の諸条件からプライバシーを確保する為、大きな開口をとらず、天窓で居室の採光を確保した。そうすることにより隣地を気にせず一日中明るい採光計画となった。インナーバルコニーは空間の抜けを演出している。

事例の特徴

ファサード、インテリア共、無彩色アースカラーをメインとし、ラグとグリーンでアクセントをつけている。あまり建築で色味をつけず、小物やインテリアなど暮らしていく中で足していけるようにし、住んだ後も変化を生むことが出来るような家にした。



天窓部が勾配天井になり開放感抜群。



隣地を気にせずくつろげる。



夜は間接照明。



玄関からの眺め。鉄骨階段をオブジェに。



抜けのあるインナーバルコニー。



外部を取り込むリビング空間。

思い出が蘇る時代継承の家

【建築主】F様
 【設計者】ホルツバウハウス (株)住宅デザイン研究所 金堀 健一 TEL: 082-243-7622
 【施工者】ホルツバウハウス (株)住宅デザイン研究所 金堀 健一 TEL: 082-243-7622
 【企画立案者】ホルツバウハウス (株)住宅デザイン研究所 金堀 健一 TEL: 082-243-7622



外観①

町にひっそりと佇む築100年以上経過する古民家。漆喰を塗り直し雰囲気はそのままだに生まれ変わった。



外観②

塀のある広い庭を眺める縁側には、透明ガラスでウインドウトリートメントもかけず、ゆっくり景色を楽しめるように。



駐車場

古民家の雰囲気を最大限生かすよう塀を新設した。母屋の瓦になじむよう塀にも瓦をあしらった。



駐車場床部拡大

駐車場の床面には、昔から使われていた巴瓦を再利用し埋め込んだ。



門

蔵に眠って使用していなかった門扉を修繕し、駐車場から庭への入り口に取り付けた。



玄関

広い土間のある玄関に囲いを設け階段を設置した。壁には和室で使用していた欄間と扉を加工し取り付けた。

創意工夫の内容

思い出のものをたくさんお持ちのF様。出来るだけ昔使われていた思い出の品を、新しい場所で再利用しました。床下からの修繕となりましたが、残せる箇所は残し、耐震性を保ちながら、古民家の雰囲気を最大限生かしたりノバージョンを心がけ、これからも時代継承したくなる住まいとなりました。

事例の特徴

- 内装は壁には漆喰を使用し、床や建具は無垢の木材を使用した。空気のきれいなリノベーション。



キッチンタイル部

キッチンに使用したタイルは蔵に眠っていた思い出のある古タイル。新設の大理石タイルと合わせて良い雰囲気になった。

キッチン

キッチンには秋田産の無垢のナラ材を使用し、使いやすいようオーダーで制作した。



テレビボード

昔使用していた水屋をテレビボードとして生まれ変わらせた。上部の梁との相性も良い。



洗面

こちらのタイルも昔使用していた古タイルを、新設タイルと合わせてコーディネートした。



書斎コーナー

書斎コーナーの机の天板は、床板を再利用した。螺鈿細工の施された扉も昔使用していた家具から再利用した。



書斎コーナー上部の照明

書斎コーナーの上部には、雰囲気合うレトロな照明をコーディネートした。



玄関階段

階段の段板は、床板を再利用した。

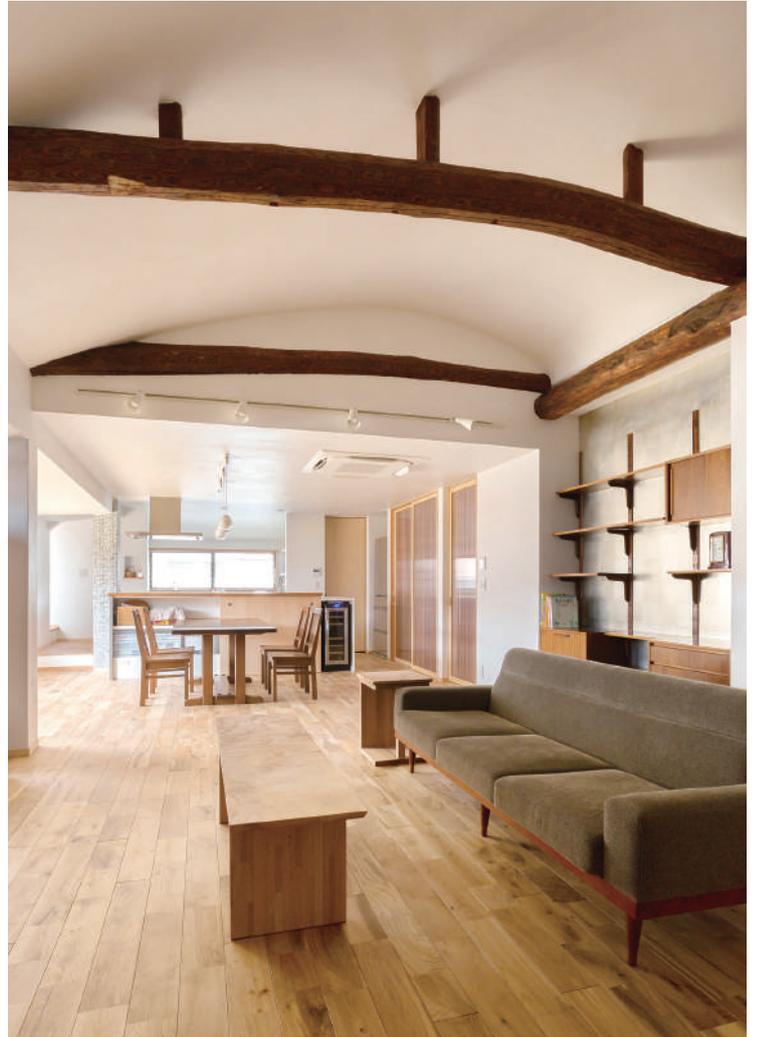


玄関壁

玄関の漆喰壁には、建築主のお気に入りの器を埋め込み、彩を添えた。

酒蔵通りの古民家

【建築主】非公表
 【設計者】エンロハスデザイン一級建築士事務所 栄花 彰子 TEL: 090-1685-1261
 【施工者】株式会社 中工務店 中和也 TEL: 082-423-3352
 【企画立案者】株式会社 中工務店 中和也 TEL: 082-423-3352



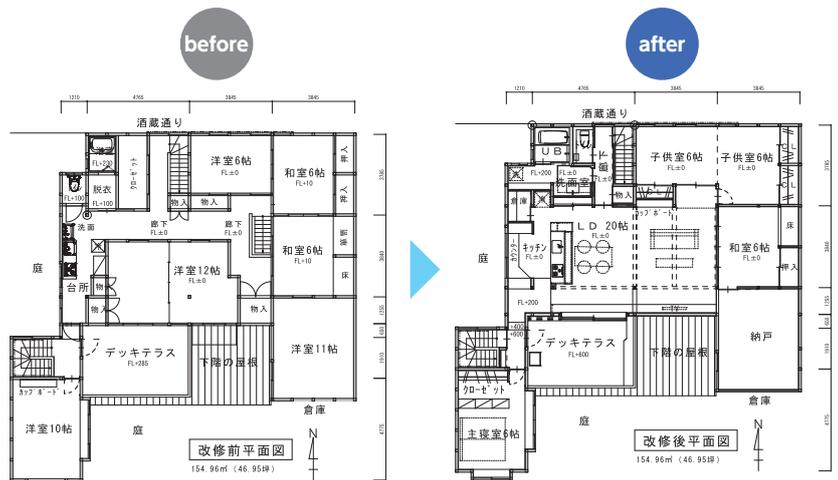
改修前



改修中

昭和期の無理な改修で崩れていた架構を整え直した。大梁の下に、抜かれていた柱を設置し直し耐力壁をバランスよく配置。補強の必要な部分も意匠的な工夫で目立たないように。

少ない窓でも明るい広々のLDKに。ダイニングの天井高さが取れない分、リビングを小屋裏に抜いて広がり演出。梁のみえるR天井にすることで柔らかに光が広がる。後ろのバックボードは以前からあったものをオシャレにリメイク。



創意工夫の内容

西条の酒蔵通りに面する築 150 年の建物。今回、周りを工場に囲まれ暗く閉鎖的で物置状態になっていたこの建物の 2 階を、若夫婦ご家族の棲家として改修。構造的、意匠的、温熱的に、快適な空間にと検討を重ねた。少ない開口部の中で明るく広々した雰囲気を作る為に、木構造を整え LDK を中庭に大空間で開き、光が中に広がる素材と形状とするなど工夫。アクセントインテリアも一役かって清々しい空間に蘇った。



中庭を望むバルコニーへの開口はフルオープンになり、季節の良い時は大きく開くと気持ち良い空間に。ここから光と風を最大限に取り込む。格子の網戸建具にすると外からの視界も気にならない。



改修前



床の間の背は、おばあさまの工房で御家族皆で染めた藍染和紙。ハイセンスな上に良き思い出にもなった。天井の照明は一工夫。

事例の特徴

- 古民家の耐震性能と断熱性能を向上。
- 風通しや陽の入りを考慮して断熱材以外でも温熱環境を改善。
- 広島発の素材である、瀬戸漆喰や歴清社箔を使った内装。



キッチンと繋いで広々としたダイニング。柱補強した部分はモザイクタイルでオシャレに演出。



オープンキッチンと背面に造った家事カウンター。配管経路を工夫して、キッチン左からはLDKよりフラットに入れる。奥は、取れない柱や壁を利用して、素敵な間仕切りコーナーに。



清潔感あふれる洗面室。間取りの工夫で、広く使いやすく。



木製の棚が暖かく、また、機能的で広くなったトイレ。

古き良き家

【建築主】山根 真彦様
【設計者】(株)エコデザイン工房 金堀彰文 TEL: 082-849-5668
【施工者】(株)エコデザイン工房 金堀彰文 TEL: 082-849-5668
【企画立案者】(株)エコデザイン工房 金堀彰文 TEL: 082-849-5668



全景

築100年の家を再生。



周辺の状況

大きな松など撤去。



外観①

朽ちていた土台も再生。



外観②

古民家にあったポストを選んだ。

創意工夫の内容

築 100 年以上の伝統工法による構造で、昔ながらの田の字の間取りを活かし、リビング・ダイニング・寝室・応接室を配置。あえて壁をつくることで個室が確保でき、トイレやお風呂など水廻りをひとつにまとめたこともポイントです。

縁側・屋根裏部屋などは納戸として利用できるように工夫、収納力はたっぷりあります。

事例の特徴

- 断熱性能を向上
- 床材・欄間・下駄箱など鉄肥杉
- 階段材は広島県産材 杉
- 壁面は珪藻土塗料を採用



内観①

玄関収納も小壁で目隠し。



内観②

欄間を抜いて空間に広がりをもたす。



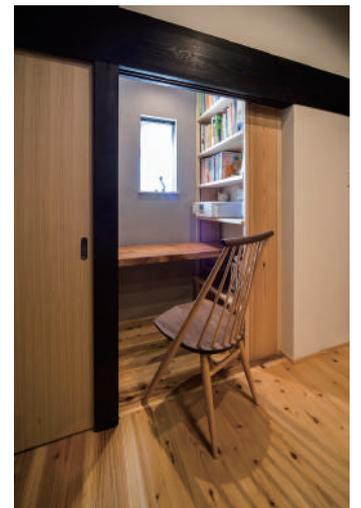
内観③

古民具を活かして再利用。



内観④

屋根裏部屋への階段。



内観⑤

収納の横にパソコンスペース設置。



内観⑥

建具も元々あったものの再生。

広島県木造住宅生産体制強化推進協議会

●構成団体

(公社)広島県建築士会、(一社)広島県建築士事務所協会、(一社)広島県建築センター協会、(一社)広島県工務店協会、(一社)広島県木材組合連合会、(一社)広島県住宅産業協会、(一社)日本ツーバイフォー建築協会広島県支部、(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部、広島県森林組合連合会、(株)スガノ、(株)小野産業

●オブザーバー参加

広島県土木建築局住宅課、広島県農林水産局林業課

●協議会事務局

(公社)広島県建築士会 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F Tel:082-244-6830
E-mail:info@k-hiroshima.or.jp ホームページ <http://www.k-hiroshima.or.jp/>